

貧困研究会

第10回研究大会

共通論題 子どもの貧困の現状と政策的課題の検討

2017年12月9日(土)10日(日)

大谷大学

12月9日(土) 共通論題：子どもの貧困の現状と政策的課題の検討
— PART①ひとり親家庭を中心に

13:30～16:45	「総論・問題提起」吉永 純(花園大学) 「ひとり親世帯の子どもの複合的不利：東京都「子供の生活実態調査」から」 阿部 彩(首都大学東京) 「生活保護世帯の子どもの見えにくい実状」 林 明子(大妻女子大学) 「生活保護における子どもと保護基準 —最近の基準部会・母子加算をめぐる議論を踏まえて—」 岩永 理恵(日本女子大学)
16:45～17:45	年次総会
18:00～	懇親会

12月10日(日) 共通論題：子どもの貧困の現状と政策的課題の検討
— PART②自治体調査や施設から見た子どもの貧困

9:00～11:40	「大阪府 子どもの生活に関する実態調査から見える子どもの貧困」 嵯峨嘉子(大阪府立大学) 「生活保護と大学進学：生活保護世帯の大学生等生活実態調査(堺市)から」 桜井啓太(名古屋市立大学) 「児童養護施設の子どもたちの自立と貧困」 木塚勝豊(平安徳義会養護園)
------------	---

12月10日(日) 自由論題

13:00～15:40	「社会的排除と貧困」 志賀信夫(大谷大学) 「相談事例から見る生活困窮と労働問題の相互関係」 今野晴貴(一橋大学大学院生、NPO 法人 POSSE) 「貧困バッシングの構造」 渡辺寛人(東京大学大学院博士課程、NPO 法人 POSSE) 「生活保護制度における自治体ローカル・ルール —全国都道府県及び政令指定都市における運用マニュアルの分析から—」 大山典宏(立教大学大学院生) 「出所者支援における既存の社会資源の活用：自立準備ホームの課題と展望」 掛川直之(大阪市立大学/日本学術振興会) 「あいりん地区に見る貧困の地域集中の功罪」 白波瀬達也(関西学院大学)
-------------	---

※ 会員以外の方でも参加できます。

※ 大会参加費：1000円

※ 参加される場合は、11月末までにシンポジウム・懇親会・自由論題、それぞれへの参加の有無について事務局までご連絡ください。

詳細および最新情報は貧困研究会 HP(URL <http://www.hinkonken.org>)をご覧ください。

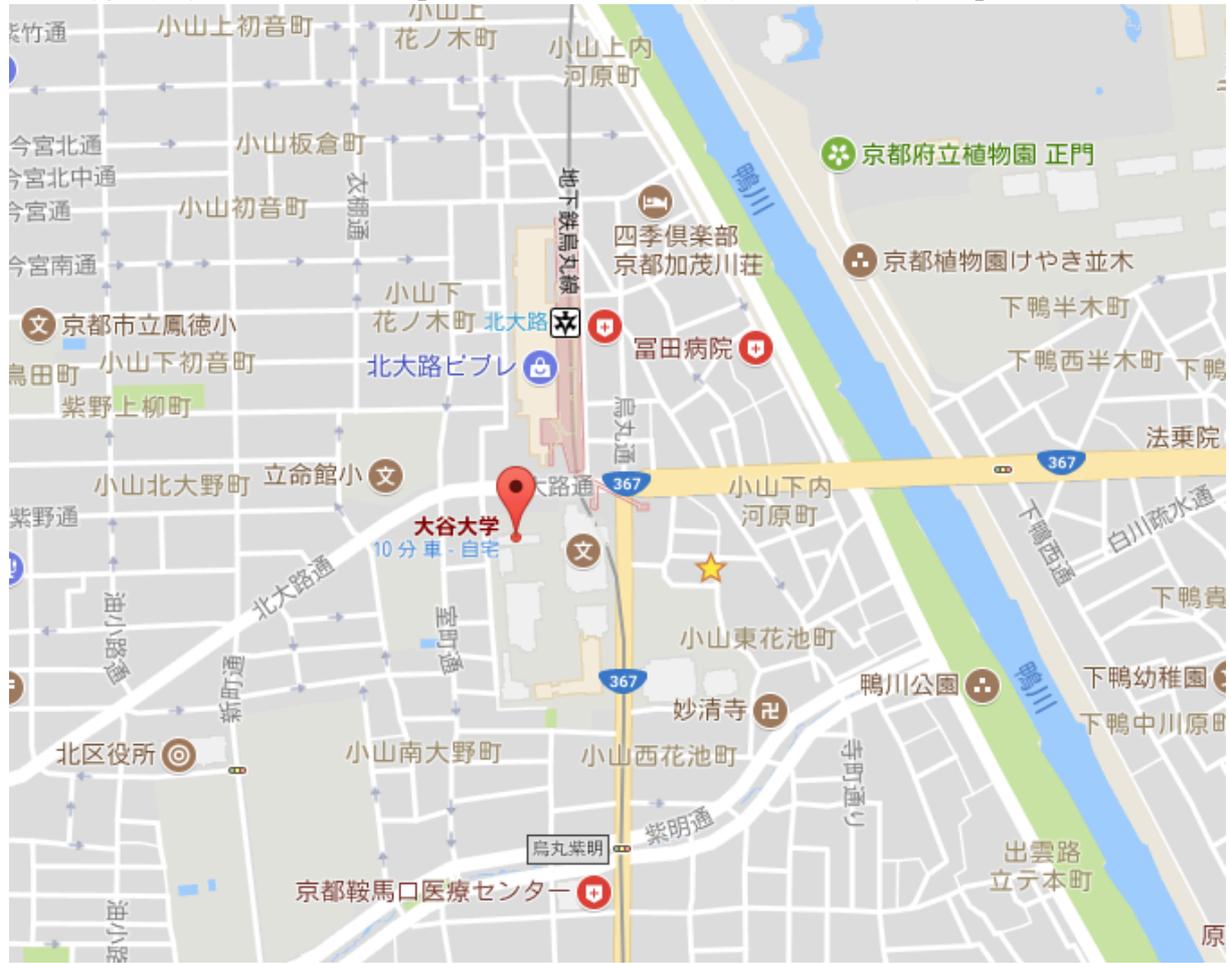
お問い合わせ・参加申し込み先

貧困研究会事務局 e-mail [taikai-entry\[at\]hinkonken.org](mailto:taikai-entry@hinkonken.org) (送信時には[at]を@に置き換えて下さい)

交通アクセス

大谷大学

●京都／本部キャンパス 【〒603-8143 京都市北区小山上総町】。



●京都市営地下鉄烏丸線 国際会館行「北大路」駅上（南改札を出て6番出口よりすぐ）
JR 京都駅から乗車時間約 13 分